

労働基準広報 2018 No.1980

12/21

CONTENTS

年末特別企画 今年の労災裁判を振り返る ————— 6

精神疾患関連の増加傾向がストップし パワハラによる損害賠償請求が増加

今年の労災裁判の特徴は、長年続いてきた精神疾患の業務上外の判決、精神疾患に関する損害賠償事件の増加傾向がストップし、他方でパワハラによる損害賠償請求事件が増加していること。パワハラについては、工作中的の暴言・土下座の強要や暴力、威圧的な言辞による退職の強要、不正行為の内部告発への報復、到底1人では対応できない過重な業務への配置換えなど、その態様も多岐にわたっている。また、今回は全国建設アスベスト事件判決が多く出されているのも特徴の1つ。そのため、各事件の論点の概略を一覧表にまとめて示してもらった。

(弁護士・外井浩志 (外井(TOI)法律事務所))

●労働局ジャーナル ————— 25

「みやぎ働き方改革推進セミナー」を開催
水町教授の講演や地元企業の取り組み
事例発表も

(宮城労働局)

●レポート/全労協の専門部会が「若者の
早期離職に関する調査」結果を発表 — 26

労働時間や給与などの条件より仕事の
意義や意味を重視した企業選びを

(編集部)

●裁判例から学ぶ予防法務〈第47回〉 — 28

高知県立大学後援会事件

(高知地裁 平成30年3月6日判決)

通算雇用期間の上限理由とする雇止めの適法性等
有期雇用の位置づけを明確にして
更新手続や上限など詳細な説明を

(弁護士・井澤慎次)

●NEWS ————— 1

(トラック運転者の長時間労働削減でガイド
ライン)改善に向けたステップと具体的対応
例示す/ (日本産業カウンセラー協会まとめ)
相談者は前年の約1.6倍、相談件数では約1.5
倍に/ (第50回社労士試験の合格者) 合格率は
6.3%で前年を0.5ポイント下回る/ ほか

●労務資料/多様な働き方の進展と人材マネジメントの
在り方に関する調査結果② ————— 44

従業員の副業・兼業「許可予定ない」76%

～副業・兼業～ (独)労働政策研究・研修機構調べ)

●本誌読者アンケート — 41 ●連載 労働スクラン
ブル④ (労働評論家・飯田康夫) — 42 ●わたしの
監督雑感 神奈川・横浜西労働基準監督署長 大
屋秀之 — 54 ●今月の資料室 — 56 ●労働基準広報
平成30年 総目次 — 57

アンケートへのご協力をお願い致します(41ページ)

労務相談室

回答者

労働基準法 [裁量制の社員が秋の連休中の時間外申告] 時間外手当必要か ————— 48 弁護士・新弘江

懲 戒 [違反行為繰り返す無期契約の従業員] 有期契約に変更可能か ————— 50 弁護士・田島潤一郎

徴 収 法 [労働保険の一括有期事業の保険事務] どのような改正か ————— 52 弁護士・小川和晃

バックナンバーが閲覧できます!!

<http://rouki.chosakai.ne.jp/>

本誌ご購入の皆様へ

ビジネスセミナー「労働塾」のご案内